

(臨床研究に関する公開情報)

岡山医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

腰椎変性疾患における脊椎固定術の手術法による術後成績についての検討

[研究責任者]

整形外科 医師 篠原 健介

[研究の背景]

腰部脊柱管狭窄症や腰椎変性すべり症、腰椎分離すべり症をはじめとした腰椎変性疾患は患者数が多いことが知られています。

保存的治療に抵抗性の症例では手術加療が行われているが、その手術方式は多岐にわたっており、従来では後方固定術が一般的であったが、当院では症例によっては早期より前方固定術を行っており、また近年では側方アプローチによる固定術も施行しています。どの術式においても症状の改善のため腰椎の固定という目的は同じであるが手術侵入法の違いにより術中合併症、術後合併症が異なってきます。骨癒合率や術後成績に大きな差は認められないとの報告があるが、長期的な経過観察による術後成績の差異は明らかではありません。

[研究の目的]

当院において腰椎固定術を受けた腰椎変性疾患患者における手術方法、術後の成績、また追加手術、術後合併症の現状を調査し、術後の機能的回復を調査、検討することを目的としています。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

西暦2010年4月1日から2018年3月31日の間に当院で腰椎変性疾患に対して脊椎固定術を受けた方

●研究期間：

当院の臨床研究審査委員会承認後、研究実施許可日から西暦2021年10月31日

●利用する検体、カルテ情報

用する検体：利用しない

カルテ情報：下記の情報を収集します。

- 患者さんの基本的な情報
(性別、身長、体重、既往歴、受傷前及び退院時の生活場所、歩行能力など)
- 臨床情報
(診断確定日、診断名、治療方法、治療薬など)
- レントゲン検査、CT 検査、MRI 検査など画像検査
(腰椎変性、脊柱管の状態、骨癒合の有無など)
- 血液検査結果
(白血球、ヘモグロビン、CRP など)
- 理学療法評価
(動作能力、手術前後の神経症状の変化など)

● 検体や情報の管理

検体や情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

【研究責任者】

岡山医療センター 整形外科 医師 篠原 健介

【研究分担者】

岡山医療センター 整形外科 竹内 一裕

岡山医療センター 整形外科 廣瀬 友彦

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者 整形外科 篠原健介が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

岡山医療センター 整形外科

〒701-1192 岡山市北区田益1711-1

電話：086-294-9911

研究代表者：整形外科 医師 篠原健介